



# 2019年「新年」を展望 するの巻 社長 安藤幸広

新年明けましておめでとうございます。本年も、ご愛顧頂きますようお願い申し上げます。

さて今年2019年（平成31年）の新年（元日）はどのような1年となるか様々な予測が出ており、すが参考の一部をご紹介します。

まず、本年の日本の行事として2019年4月30日に天皇陛下の退位（即位）の儀が行われ、平成が終了します。そして翌日の5月1日には皇太子殿下が天照大神と即位し、元日の改元（新元号）は4月1日に発表され、5月1日から新元号が適用される（も）行なわれ、そのための休日特例法により、2019年4月27日（土）から5月5日（日）の間、10連休の大型連休となります。また、週府県と政令市以外の市議員の統一地方選挙、4月21日には都道府県と政令市以外の市

区町村の首長、議員の統一地方選挙が実施されます。更に7月中には参議院議員通常選挙（半数改選）が実施予定され、衆議院議員選挙も参議院選挙と同時にあるか、もしれませんが、選挙の年でもありません。

何よりも10月1日より消費税が8%から10%へ引き上げられる事が決まっております。日本にとつては「歴史的な節目の年」となります。消費税は一度上がるのと下がる事はなく恒久的な増税策となり、毎年の国民負担は多額に毎年発生し続けます。

次に世界に目を向けると最大の関心事は関税に端を発した米中貿易戦争の行方と考えます。合意と決裂、何も決まらずに長引く等、どのようになるのか、最大の関心事と考えます。大が、安藤は今年最大の「第1のリスク」と提起します。

ドイツ銀行はドイツのフラックフルトに本店を置く民間銀行

で、コムルツ銀行、ドレナール銀行、モリス銀行、3大銀行に上り、中央銀行です。民間銀行です。そのドイツ銀行です。直近のデータでは世界の平均で取引額は550兆円規模と、約16%を取り扱っている巨大銀行なのです。そのドイツ銀行で商品取引で破綻するのでは、ないかと心配されています。一瞬にして破綻し、100倍の負の影響が起きます。世界経済が崩壊する試算されています。融派生商品のCD、ヘクレンジット、デフホルト、スワップ、債権等の破綻保険の大量に元締めとして発行保有し、運用してまた様々な金融機関にそのCD、Sを金融商品として販売し、資産価値に擬似が付いてはいるから、CD、Sは例えば、償還できなくなると、ドイツ銀行は総額50兆円の保険金を国債保



有者に支払う事を約束した金融派生商品。ドイツ銀行の規模を約400兆円と表す。GDPは円換算で約400兆円。ドイツ銀行が持っている商品には約75兆ドル（約750兆円）の規模にもなっている。と言われている。ドイツ銀行の規模は約75兆ドル（約750兆円）の規模にもなっている。と言われている。ドイツ銀行の規模は約75兆ドル（約750兆円）の規模にもなっている。と言われている。

「第3のリスク」は10月1日の消費増税に伴う日本国内の景気悪化。未だに実質賃金が上がらずにデフレからの脱却が出来ない状況下の消費増税は劇薬と考えるからです。

「第4のリスク」は、今年も含め南海トラフ地震がそろそろ

「第2のリスク」は、米中貿易戦争の行方です。2019年2月末までに米中間で合意できれば良いのですが、アメリカの製品は、ヨーロッパ、アジア、北アメリカに広がっており、米中貿易戦争は、世界に波及する可能性があります。

**1ヶ月のクイズ**

Q 1199年までの数字を11回繰り返して例のように式を作ります。同じ数字で出来る最大と最小の式を作ってください。

例  
1199 + 1199 = 2398  
1199 - 1199 = 0  
1199 × 1199 = 1437601  
1199 ÷ 1199 = 1

Vol.357の答えは①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

当選者名 田辺タイ子ちゃん  
平野明ちゃん 滝井洋子ちゃん  
坂内美奈ちゃん 田野和子ちゃん  
あしんのクイズの答えは11月10日までに当選にしてください。

「第1のリスク」は、米中貿易戦争の行方です。2019年2月末までに米中間で合意できれば良いのですが、アメリカの製品は、ヨーロッパ、アジア、北アメリカに広がっており、米中貿易戦争は、世界に波及する可能性があります。

「第2のリスク」は、米中貿易戦争の行方です。2019年2月末までに米中間で合意できれば良いのですが、アメリカの製品は、ヨーロッパ、アジア、北アメリカに広がっており、米中貿易戦争は、世界に波及する可能性があります。

「第3のリスク」は、米中貿易戦争の行方です。2019年2月末までに米中間で合意できれば良いのですが、アメリカの製品は、ヨーロッパ、アジア、北アメリカに広がっており、米中貿易戦争は、世界に波及する可能性があります。

「第4のリスク」は、米中貿易戦争の行方です。2019年2月末までに米中間で合意できれば良いのですが、アメリカの製品は、ヨーロッパ、アジア、北アメリカに広がっており、米中貿易戦争は、世界に波及する可能性があります。

「第5のリスク」は、米中貿易戦争の行方です。2019年2月末までに米中間で合意できれば良いのですが、アメリカの製品は、ヨーロッパ、アジア、北アメリカに広がっており、米中貿易戦争は、世界に波及する可能性があります。

「第6のリスク」は、米中貿易戦争の行方です。2019年2月末までに米中間で合意できれば良いのですが、アメリカの製品は、ヨーロッパ、アジア、北アメリカに広がっており、米中貿易戦争は、世界に波及する可能性があります。

「第7のリスク」は、米中貿易戦争の行方です。2019年2月末までに米中間で合意できれば良いのですが、アメリカの製品は、ヨーロッパ、アジア、北アメリカに広がっており、米中貿易戦争は、世界に波及する可能性があります。

「第8のリスク」は、米中貿易戦争の行方です。2019年2月末までに米中間で合意できれば良いのですが、アメリカの製品は、ヨーロッパ、アジア、北アメリカに広がっており、米中貿易戦争は、世界に波及する可能性があります。

「第9のリスク」は、米中貿易戦争の行方です。2019年2月末までに米中間で合意できれば良いのですが、アメリカの製品は、ヨーロッパ、アジア、北アメリカに広がっており、米中貿易戦争は、世界に波及する可能性があります。

「第10のリスク」は、米中貿易戦争の行方です。2019年2月末までに米中間で合意できれば良いのですが、アメリカの製品は、ヨーロッパ、アジア、北アメリカに広がっており、米中貿易戦争は、世界に波及する可能性があります。

「第11のリスク」は、米中貿易戦争の行方です。2019年2月末までに米中間で合意できれば良いのですが、アメリカの製品は、ヨーロッパ、アジア、北アメリカに広がっており、米中貿易戦争は、世界に波及する可能性があります。

「第12のリスク」は、米中貿易戦争の行方です。2019年2月末までに米中間で合意できれば良いのですが、アメリカの製品は、ヨーロッパ、アジア、北アメリカに広がっており、米中貿易戦争は、世界に波及する可能性があります。

「第13のリスク」は、米中貿易戦争の行方です。2019年2月末までに米中間で合意できれば良いのですが、アメリカの製品は、ヨーロッパ、アジア、北アメリカに広がっており、米中貿易戦争は、世界に波及する可能性があります。

「第14のリスク」は、米中貿易戦争の行方です。2019年2月末までに米中間で合意できれば良いのですが、アメリカの製品は、ヨーロッパ、アジア、北アメリカに広がっており、米中貿易戦争は、世界に波及する可能性があります。

「第15のリスク」は、米中貿易戦争の行方です。2019年2月末までに米中間で合意できれば良いのですが、アメリカの製品は、ヨーロッパ、アジア、北アメリカに広がっており、米中貿易戦争は、世界に波及する可能性があります。

「第16のリスク」は、米中貿易戦争の行方です。2019年2月末までに米中間で合意できれば良いのですが、アメリカの製品は、ヨーロッパ、アジア、北アメリカに広がっており、米中貿易戦争は、世界に波及する可能性があります。

「第17のリスク」は、米中貿易戦争の行方です。2019年2月末までに米中間で合意できれば良いのですが、アメリカの製品は、ヨーロッパ、アジア、北アメリカに広がっており、米中貿易戦争は、世界に波及する可能性があります。

「第18のリスク」は、米中貿易戦争の行方です。2019年2月末までに米中間で合意できれば良いのですが、アメリカの製品は、ヨーロッパ、アジア、北アメリカに広がっており、米中貿易戦争は、世界に波及する可能性があります。

「第19のリスク」は、米中貿易戦争の行方です。2019年2月末までに米中間で合意できれば良いのですが、アメリカの製品は、ヨーロッパ、アジア、北アメリカに広がっており、米中貿易戦争は、世界に波及する可能性があります。

「第20のリスク」は、米中貿易戦争の行方です。2019年2月末までに米中間で合意できれば良いのですが、アメリカの製品は、ヨーロッパ、アジア、北アメリカに広がっており、米中貿易戦争は、世界に波及する可能性があります。